

WELL-being

～住まい方を知る、もっと好きになる～

スウェーデンハウスは、上手に使う、きちんと手をかけて暮らしていくことで、
もっともっと快適な住まいへと成熟します。

そして適切なお手入れは、住宅の資産価値を持続することにもつながります。

「WELL-being」では、スウェーデンハウスならではの暮らしに役立つノウハウをメンテナンスのプロがアドバイス。

お客様とともに、住まいづくりをサポートしてまいります。



maintenance & cleaning ・ 季節のお手入れ

定期的な塗り替えで
木製サッシをより美しく

■ 道具・用具の準備

防腐・防かび・防虫剤を配合した木材用の保護塗料は、スウェーデンハウスで販売しています。皆様お手持ちの製本図面で色や種類をご確認のうえ、ご注文ください。このほかに、大小2本(50mm、30mm)の刷毛、毛ぼうきやブラシ、皮スキ、240番以上のサンドペーパー、マスキングテープや養生シート、滑り止め付き軍手、ペイント薄め液、塗料を入れる小型バケツ、ウエス(布切れ)をご用意ください。



メンテナンスデータ | 窓枠の塗装編

適切な季節は…

AREA	MONTH	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道													
東北													
関東・東海													
中部・関西													
九州													

※外部木部の塗り替え作業は、カレンダーで示した時期の快晴の日に行いましょう。

！ その他

※事前に、ご使用される塗料の容器に書かれた「使用上の注意」をご確認ください。
※塗装する場合は、長雨が続いたら4～5日おいて、木部を完全に乾燥させてから行ってください。

🏠 時期は…

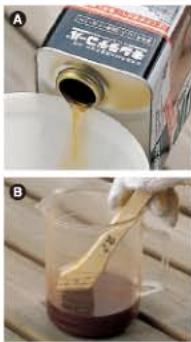
入居後 **2** 年頃を目安に1度、以降3～5年毎に1度
※時機は、お客様ご自身でメンテナンスする場合の目安です。

🕒 かかる時間は…

およそ **1** 時間/窓1枚

💰 コストは…

必要な工具代 + 道具代 + 材料費 **≒ 約¥15,000**
※白木用の「キシラデコールやすらぎ」をお使いになる場合には金額が異なります。



缶の注ぎ口にカップの縁を密着させて。このとき、容器の縁側の対面部分から移し替えるのがポイント。

カップの大きさに関わらず、塗料は、刷毛を垂直に入れたときに植毛部分の半分が浸る程度が適量です。

塗料を缶からカップへ移し替えるときは、容器の縁とは反対の側から注ぐと液だれしませんが、(写真A)。また、移し替える量は、刷毛の植毛部分が半分浸る程度でOK(写真B)。これも、塗装作業中の液だれを防ぎ、塗装を美しく仕上げる秘訣です。



木製サッシの塗り替えに用いる塗料「キシラデコール」は、顔料や防腐剤が分離・沈殿しています。使用前に缶をよく振り、細長い棒で充分に攪拌してください(攪拌が不十分だと色ムラの原因となります)。作業中も、カップに入れた塗料を随時かき混ぜながら行いましょう。

適切な塗料を上手に使って

木製サッシの塗装手順

Step 3 養生する



窓枠の金属部分やガラス面との境目はマスキングテープで、窓周囲の化粧枠や外壁はテープと一体型になった養生シートで保護します。養生は、塗装作業の直前に行い、塗装後はすみやかに外しましょう(外壁に貼ったテープ等を剥がすときに、塗装が一掃に剥がれることがありますので、十分にご注意ください)。なお、もしガラスに塗料が付着しても、あとからシンナーで落とせます。

Step 2 松ヤニを除去する

松ヤニは、乾いている状態ならヘラや金ブラシなどで削り取り、べたついている場合はシンナーを使ってウエスでふき取ります。



Step 1 ゴミやほこりを払う

表面の木目に沿ってサンドペーパーを軽くかけた後、毛ぼうきや乾いた布などでゴミやほこりを払います。このひと手間をかけることで、塗りムラが抑えられます。



Step 4 塗料を塗る



塗料を、下記の順序で塗っていきます。左右辺は上から下へ塗り進めて最後に下から上へひと塗り。上下辺は左右どちらかの一方方向で塗り終えたあとに反対方向からひと塗りして、塗料を均一にします。

Point ① 刷毛の持ち方

刷毛は、鉛筆や箸と同じ要領で持ちます。強く握ると、塗装面に毛先を押しつけてしまうため液だれの原因となります。なお、塗料で手が汚れるのを防ぐために、あらかじめ刷毛の柄の部分にウエスを巻きつけておくといいでしょう。



Point ② 塗り方の順序

まず、窓を開けてロックし、①窓枠と②サッシの側面を塗ります。その後、窓を閉めて、③ガラスはめ込み部→④サッシ上辺→⑤サッシ左右辺→⑥サッシ下辺と塗り進めます。塗装後、最低6時間以上おいて完全に乾いてから二度塗りをしてください。また、塗装後に松ヤニが出たときは「Step2」の作業を行ってください。

ADVICE

● 塗料と刷毛の保管 ●

残った塗料は、直射日光が当たらない、屋外の涼しい場所で保管しましょう。使用後の刷毛は、塗料を新聞紙やキッチンペーパーなど吸水性の高い紙に吸い込ませてから、ペイント薄め液を使って塗料を洗い落とし、さらに中性洗剤で洗って乾燥させた後、箱に入れるか布に包んでしましましょう。

※お住まいのお手入れ方法全般については、お引渡し前にお渡ししております「住まいの手引き」をご参照ください。